

令和 6 年度  
第 3 回福井県自転車活用推進会議

県民アンケート調査結果の概要

令和 6 年 11 月 19 日 (火)

# 1. 調査概要・あなた自身について①

## ■調査票の設計・配布回収

- 令和6年9月に、自転車活用推進計画の策定等に向けた、県民の自転車活用意識や実態に関するアンケート調査を実施した。
- 調査票は10～70歳代の無作為抽出をした2500名に配布し、郵送・WEBで回収をした。

### 【設問の構成】

アンケート調査項目	
あなたご自身	・性別、年齢、職業・所属、住まい、保有免許、移動手段
普段の自転車利用	・自転車の保有台数、保有自転車の種類、自転車の利用頻度、自転車利用の目的、自転車の利用頻度の変化、自転車利用の際の走行距離、自転車を利用しようと思う距離
自転車利用に対する意識	・自転車利用に対するイメージ、自動車運転中や乗車中の自転車に対する意識、自転車走行の際の道路環境、公共交通との接続環境、自転車駐車場（駐輪場）の環境、「自転車の駅」の利用の有無、総合的な自転車利用環境
自転車の安全利用	・自転車の交通ルールの周知・遵守、ヘルメットの保有、自転車損害賠償保険の加入
レンタサイクル・シェアサイクル	・過去1年以内の利用、利用目的
サイクリング（趣味・レジャー）	・サイクリングを楽しむ頻度、知っているサイクリングルート、走行した経験があるサイクリングルート、わかさいくるで進めている取組の認知度
自転車通勤や業務での利用	・自転車通勤の有無、勤務先の自転車通勤の制度・環境、自転車通勤者を増やす取組、業務での自転車利用の有無
今後の自転車施策	・自転車の利用機会を増やす予定、改善してほしい利用環境、自転車の活用推進に重要と思われる施策、意見・要望

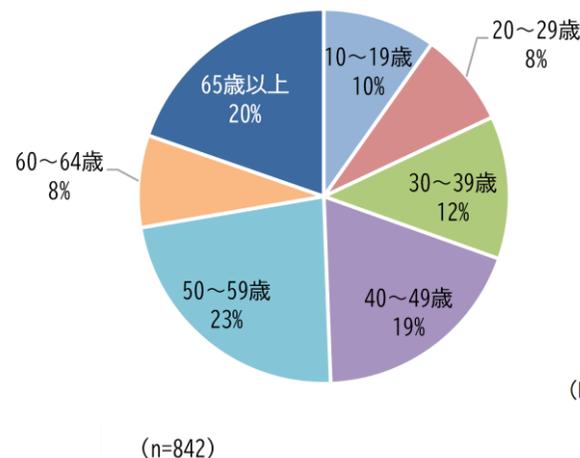
### 【回収状況】

配布数	回収数	回収率
2,500票	847票	33.9%

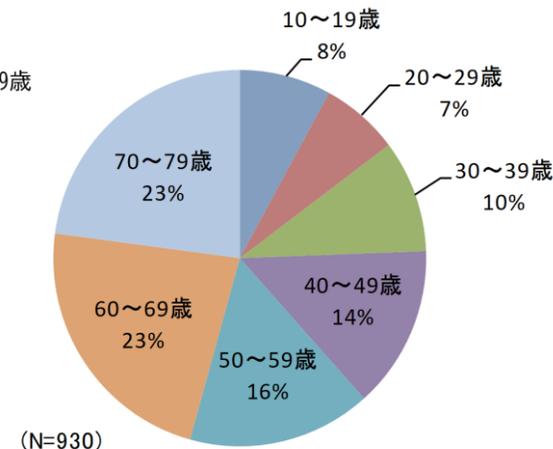
## ■年齢構成

○60歳以上の割合について、前回調査では半数弱であったが、本調査で3割弱となった。

【R6調査】

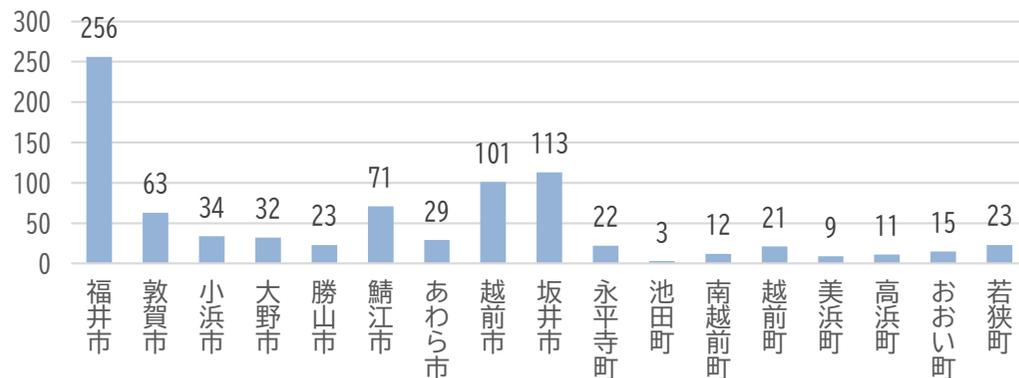


【R1調査】



## ■市町別回収数

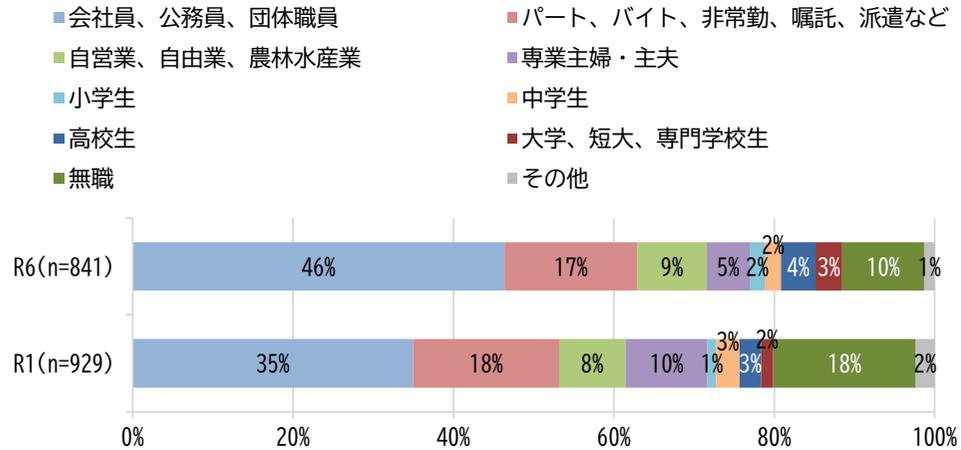
○福井市が最も多く、坂井市、越前市が続く。



# 1. 調査概要・あなた自身について②

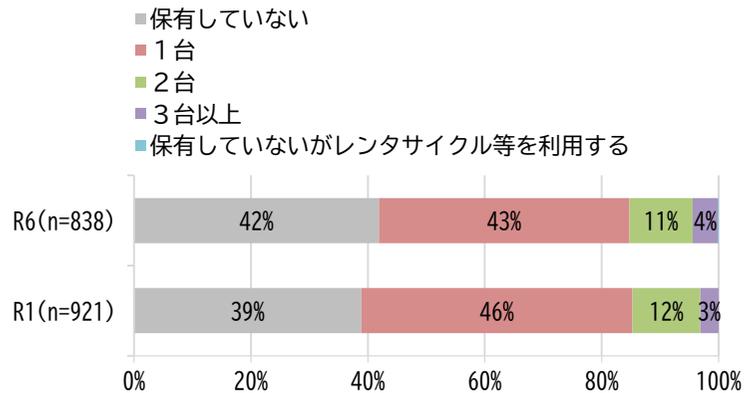
## ■職業・所属

○前回と比較すると、「会社員・公務員・団体職員」が増加し、「無職」が減少している。



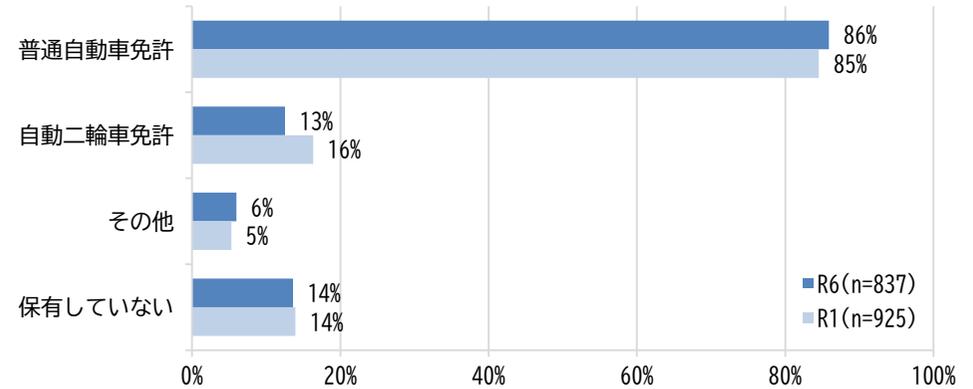
## ■自転車の保有台数

○自転車の保有状況は、前回調査と同程度である。



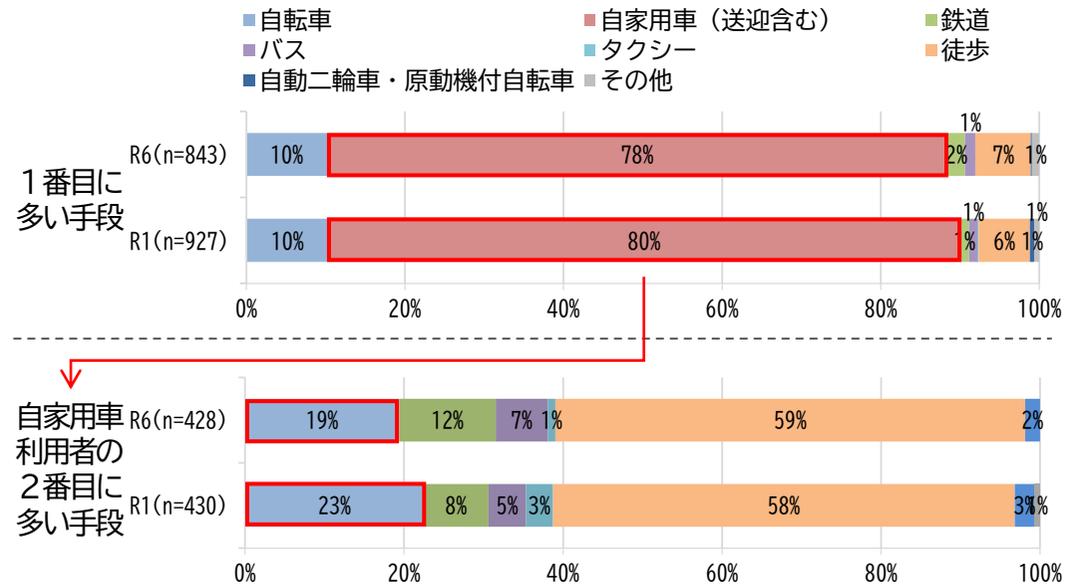
## ■運転免許の保有状況

○運転免許の保有状況は、前回調査と同程度である。



## ■一日の移動手段

○1日の移動手段のうち、1番目に多い手段は「自家用車」である。  
○自家用車利用者の2番目に多い手段は、約2割で「自転車」である。



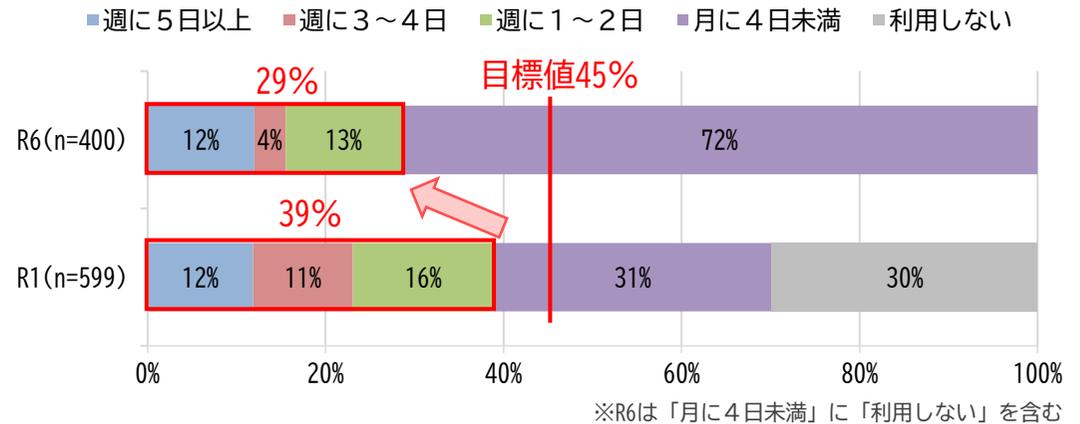
## 2. 成果指標の達成状況①

### ■自転車と暮らすライフスタイル

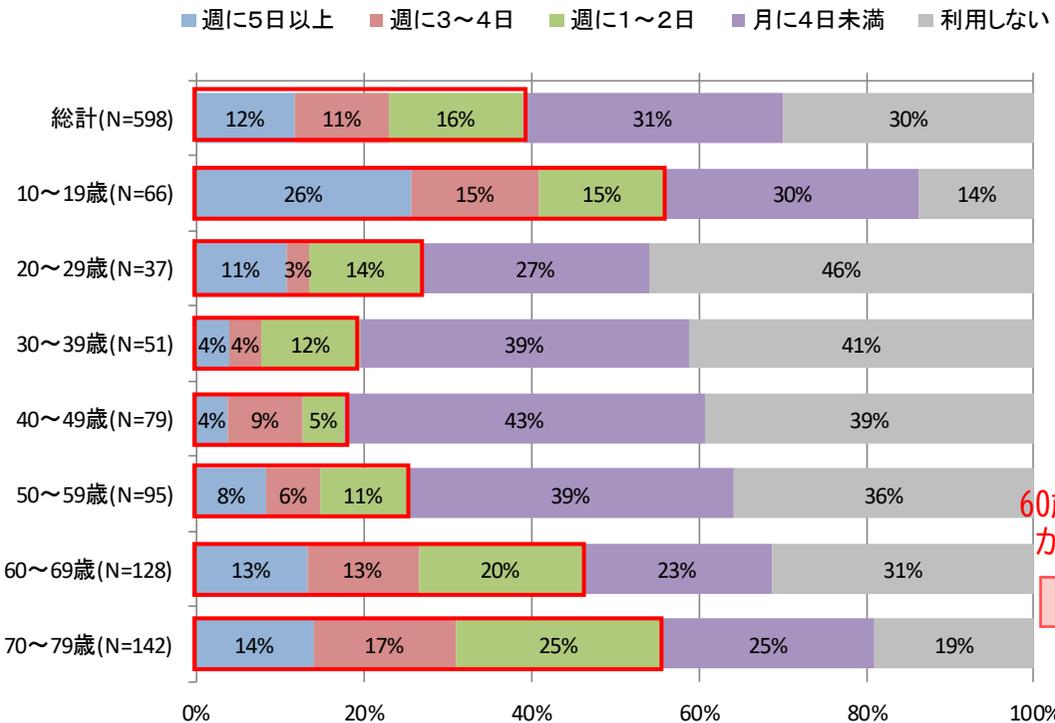
#### 週に1日以上自転車を利用する人の割合

- 目標値が45%で前回39%であったところ、今回10ポイント減少した。
- 年代別の利用頻度を調査間で比較すると、今回調査は20歳以上で全体的に週1日以上自転車利用の方が少なく、特に60歳以上で大きく減少している。

【利用頻度】

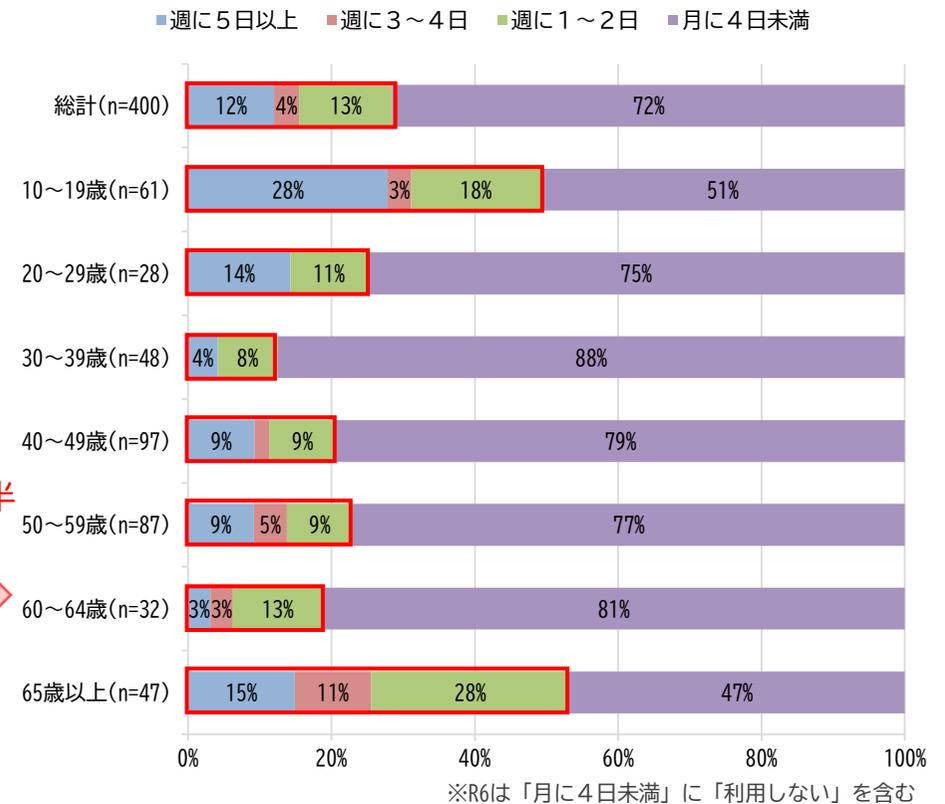


【R1調査の年代別利用頻度】



60歳代前半  
が少ない

【R6調査の年代別利用頻度】



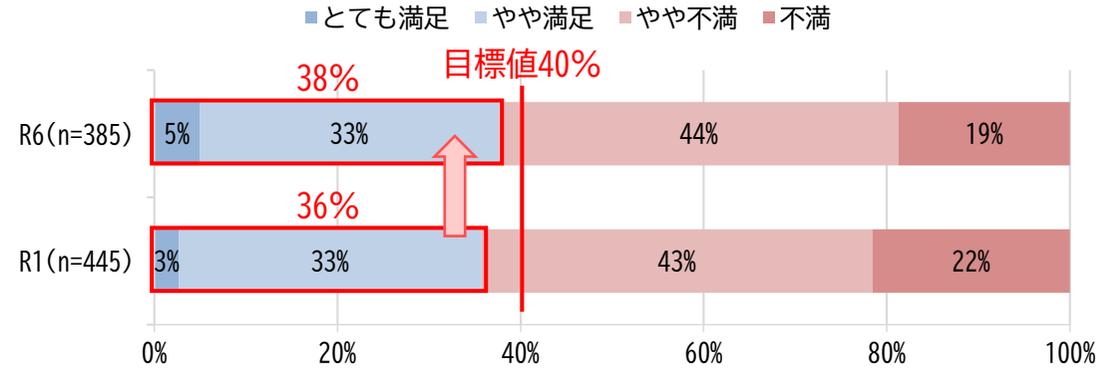
## 2. 成果指標の達成状況②

### ■自転車利用者に優しい環境づくり

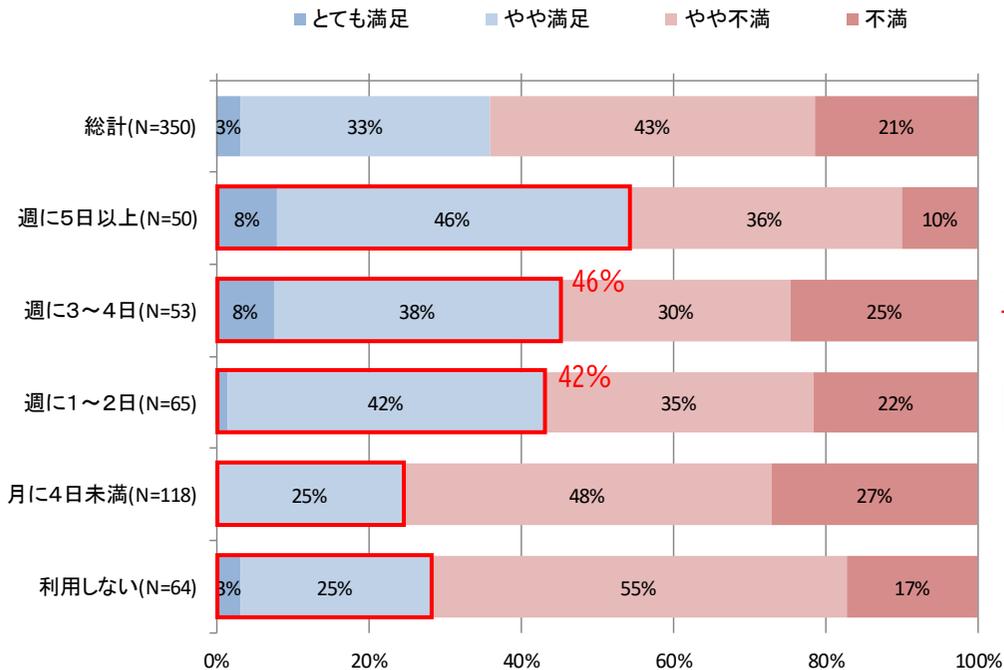
#### 利用環境に対する満足度

- 目標値40%で前回36%であったところ、今回38%と同程度であった。
- 利用頻度別の満足度を調査間で比較すると、ライトユーザーである「週1～2回」の方の満足度が10ポイント増加している。

【利用環境の満足度】

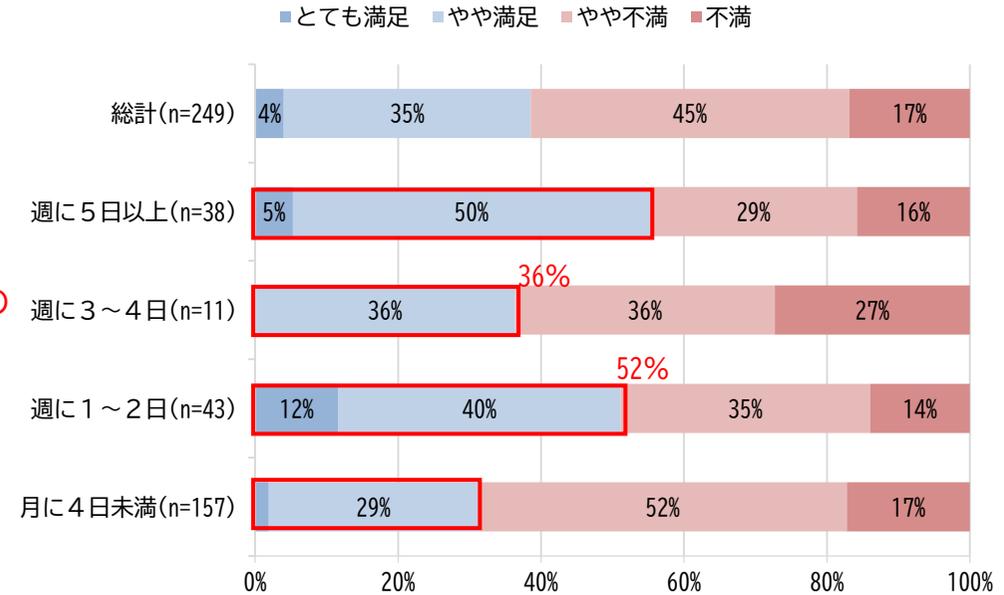


【R1調査の利用頻度別の利用環境の満足度】



ライトユーザーの満足度増

【R6調査の利用頻度別の利用環境の満足度】



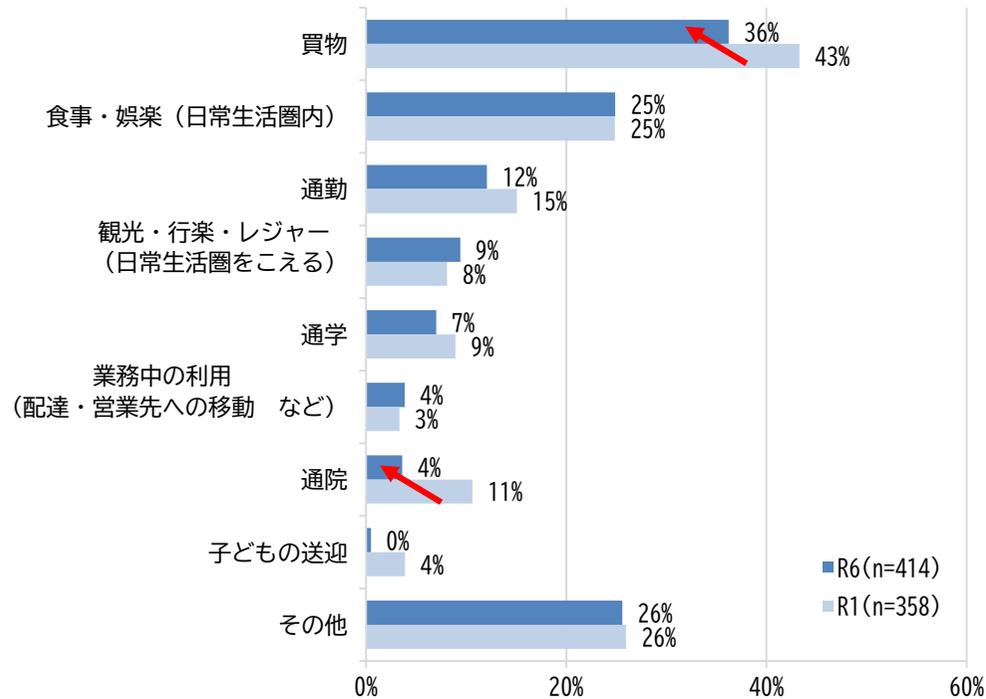
※R6は「月に4日未満」に「利用しない」を含む

# 3. 普段の自転車利用について

## ■自転車の利用目的

- 「買物」が最も多く、次いで「食事・娯楽（日常生活圏内）」「通勤」が続く。
- 前回との比較では、「通院」と「買物」が7ポイント少ない。

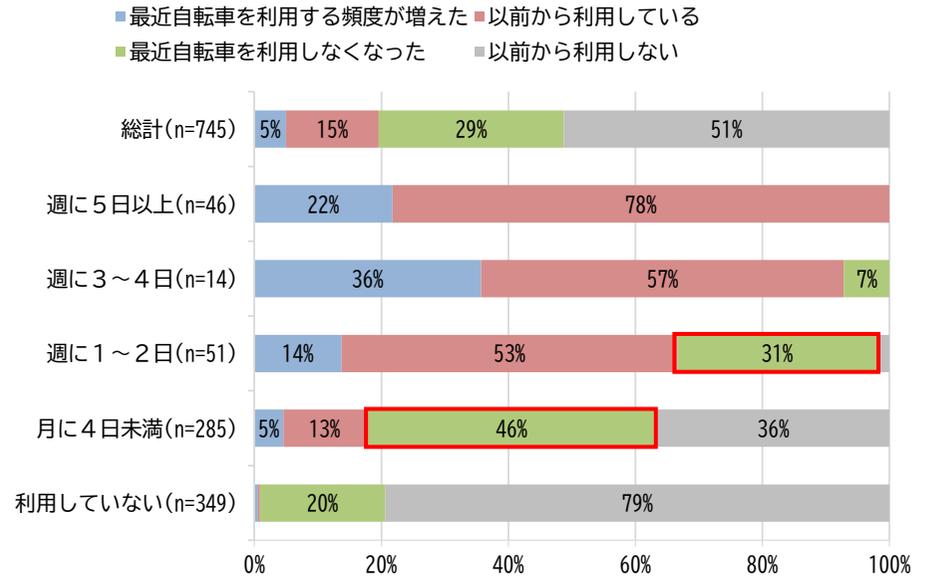
【自転車の利用目的】



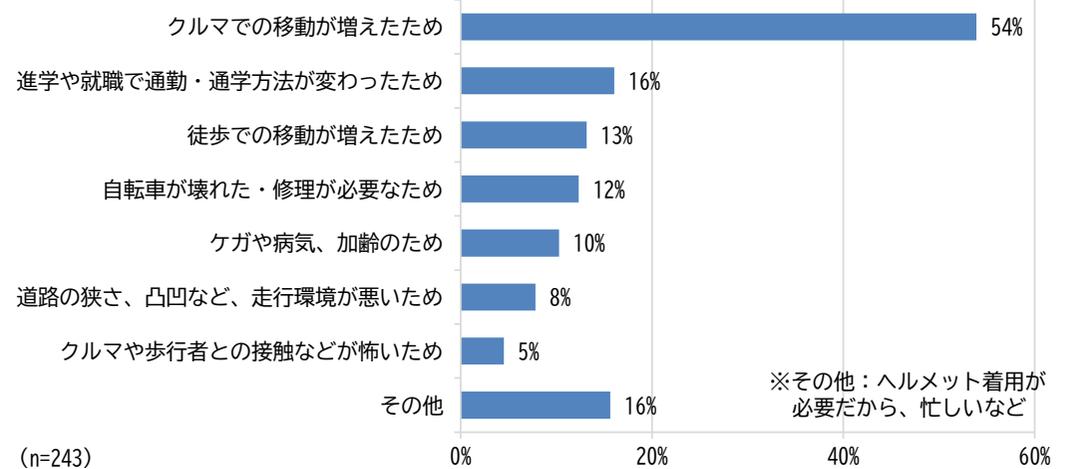
## ■自転車利用の変化、利用しなくなった理由

- 利用頻度の変化は「最近自転車を利用しなくなった」が全体で約3割、利用頻度が少ないほど多い。
- 利用しなくなった理由は、「クルマでの移動の増加」が特に多い。

【利用頻度別の利用頻度の変化】



【利用しなくなった理由】

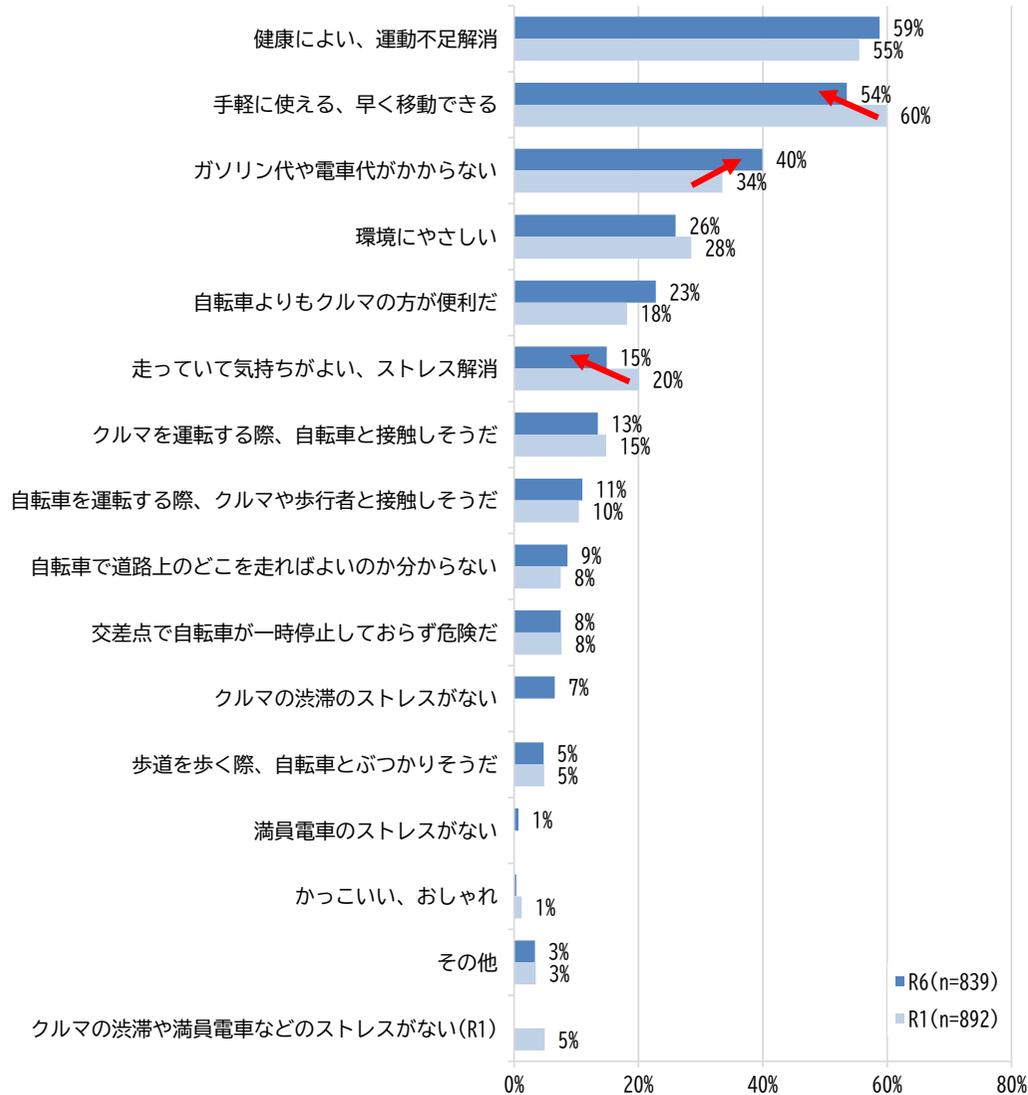


(n=243)

# 4. 自転車に対する意識

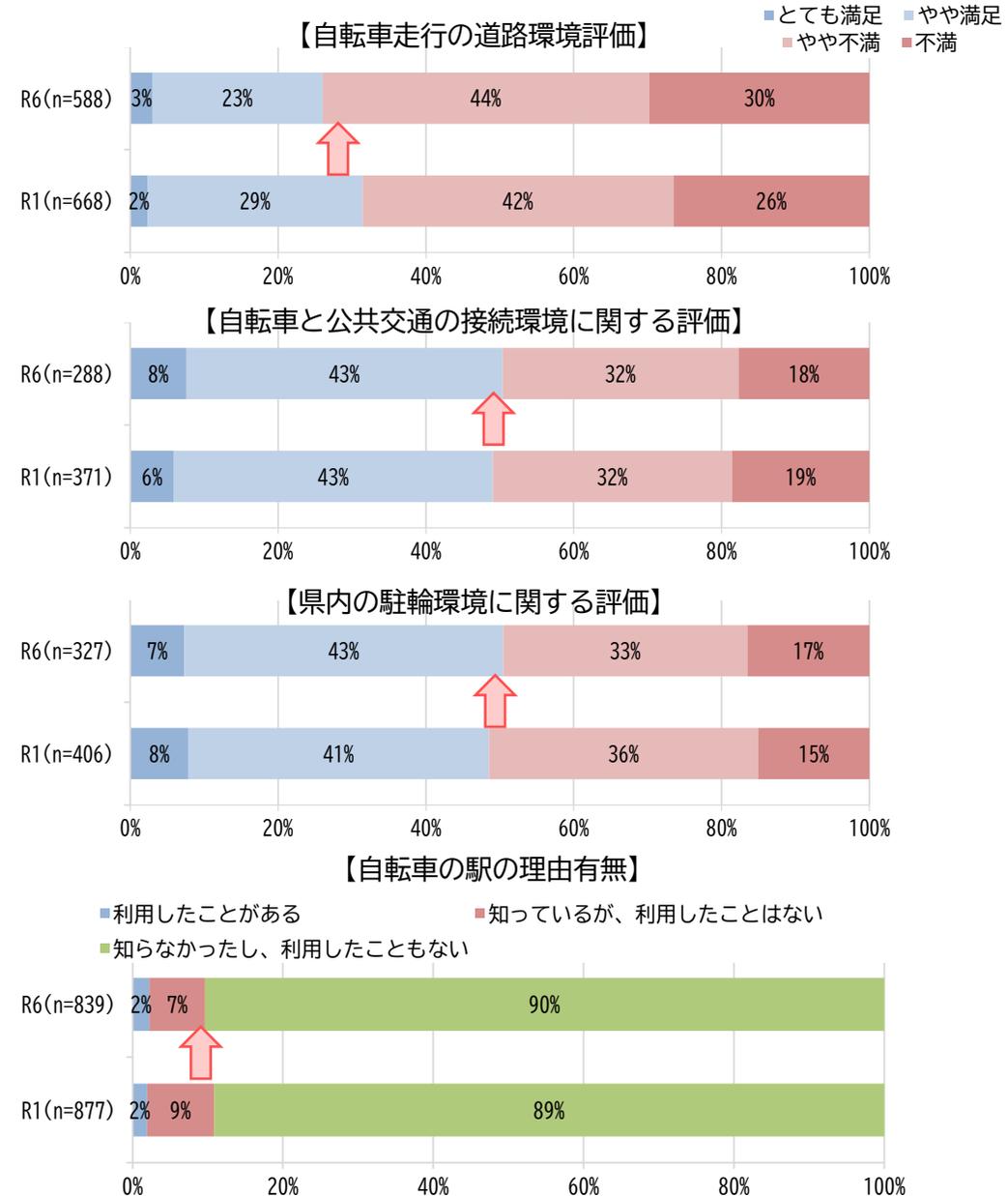
## ■自転車や自転車利用に対するイメージ

- 「健康によい、運動不足解消」「手軽に使える、早く移動できる」が上位である。
- 前回と比較すると「ガソリン代や電車代がかからない」が微増し、「手軽に使える、早く移動できる」「走っていて気持ちい、ストレス解消」が微減している。



## ■各分野の評価等

- 道路環境、公共交通との接続、駐輪環境、自転車の駅の利用状況に大きな変化はない。



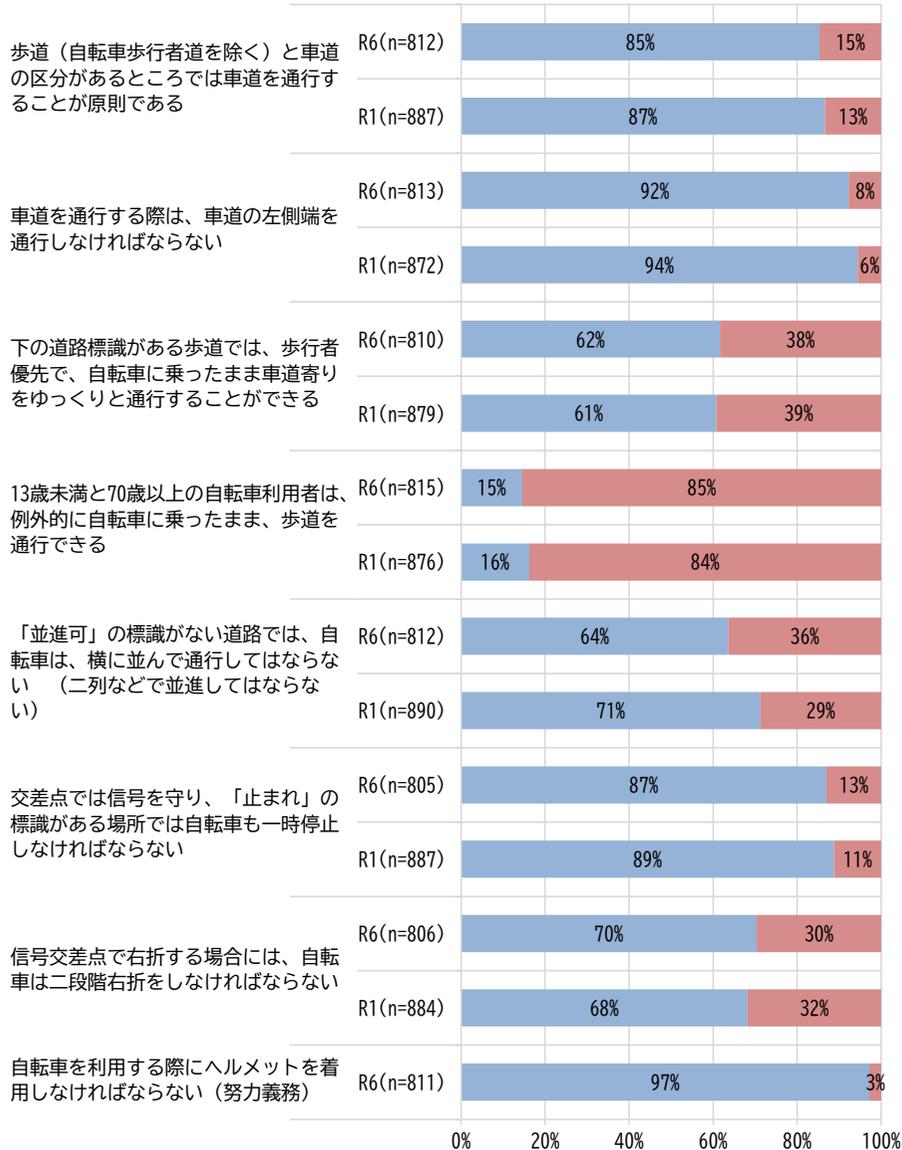
# 5. 交通安全について①

## ■交通ルールの認知度・遵守状況

○認知度、遵守状況ともに、前回調査と同程度であった。ヘルメットの着用の遵守率は24%（サイクリスト中のみ9%）であった。

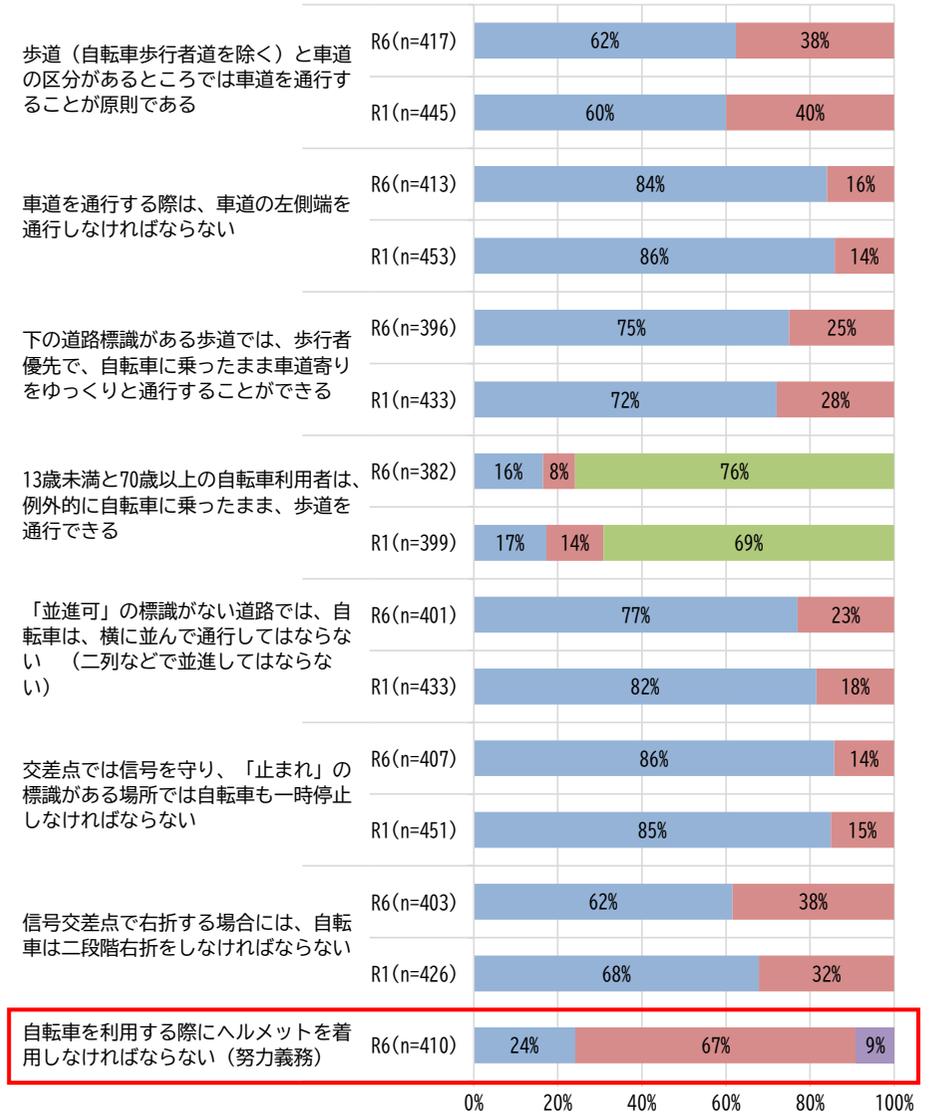
【交通ルールの認知状況】

■知っている ■知らなかった



【交通ルールの遵守状況】

■守っている ■自分の年齢では当てはまらない ■守っていない ■サイクリング（趣味・レジャー）の際のみ着用している

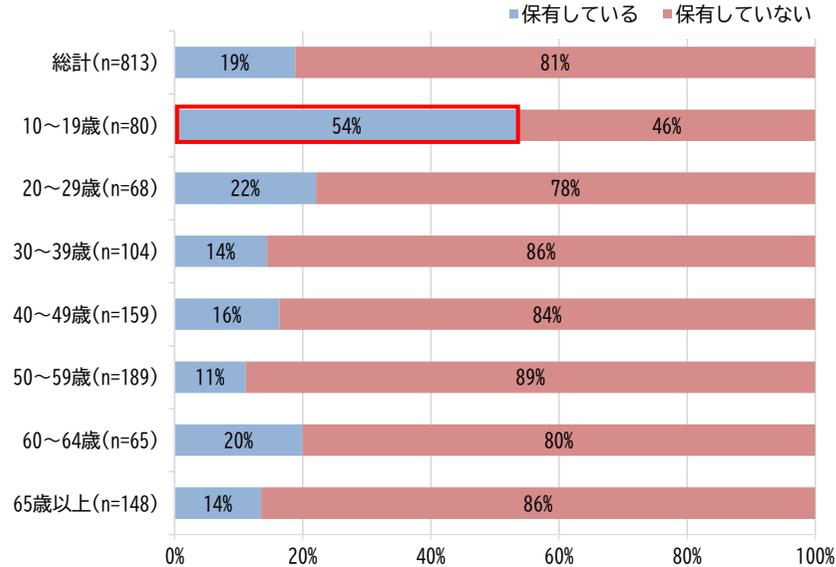


# 5. 交通安全について②

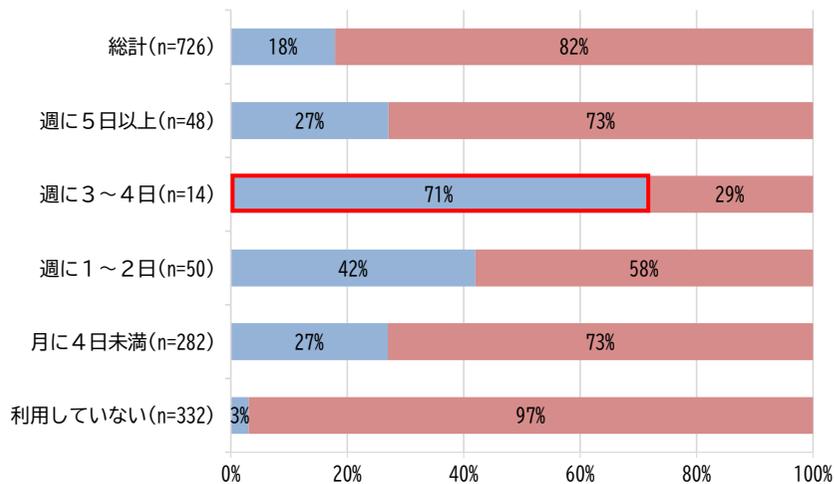
## ■ヘルメットの保有状況

- 保有率は県全体で約2割。「10～19歳」は約5割だが、それ以外は1～2割程度。
- 利用頻度別では、「週に3～4日」が約7割と高く、「週に5日以上」が約3割と少ない。

【年代別のヘルメットの保有状況】



【利用頻度別のヘルメットの保有状況】



## ■自転車損害賠償保険の加入状況

- 加入率は県全体で4割弱（前回22%）。「10～19歳」が約6割、「40～49歳」が約5割で、それ以外は2～3割程度。
- 利用頻度別では、「週に5日以上」が約7割と高い。

【年代別の加入状況】

- 加入している
- 加入していないが、今後加入したい
- 加入しておらず、今後も加入しない
- 分からない



【利用頻度別の加入状況】

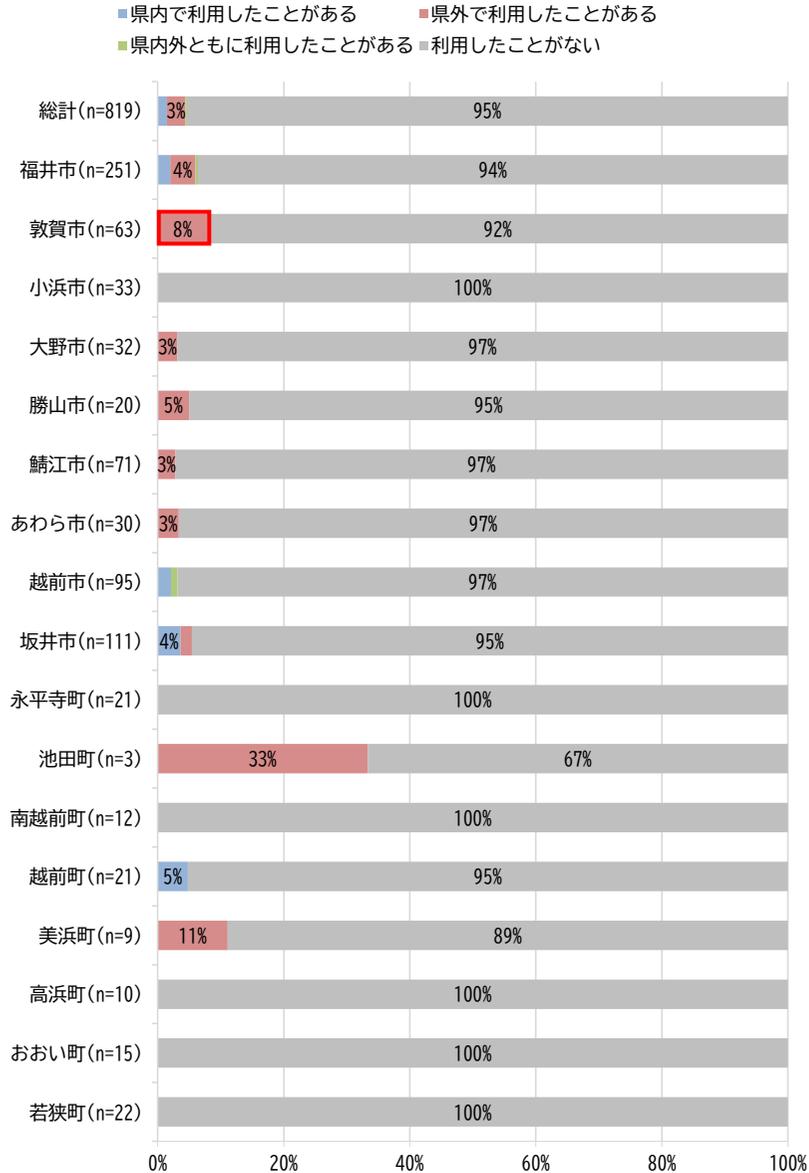


# 6. レンタサイクル・シェアサイクル

## ■1年以内でのレンタ・シェアサイクルの利用

○「県内で利用したことがある」は僅かで、敦賀市では「県外で利用したことがある」が1割弱いる。

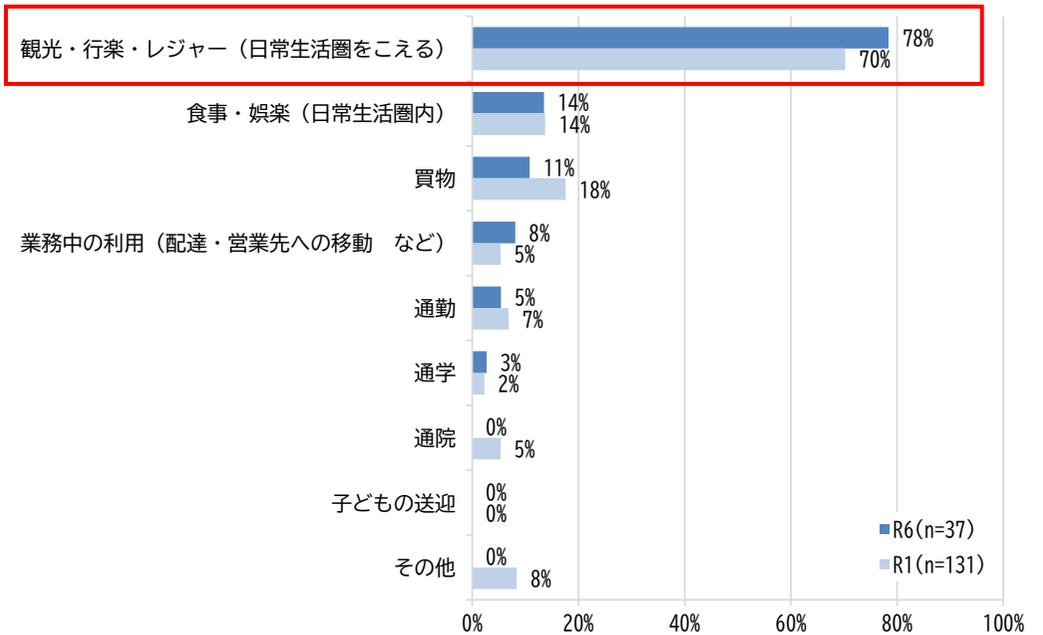
【市町別のレンタ・シェアサイクルの利用有無】



## ■レンタ・シェアサイクルの利用目的

○「観光・行楽・レジャー」が特に多く、前回調査よりも約1割多い。なお、「買物」が前回調査より約1割少なくなっている。

【レンタ・シェアサイクルの利用目的】

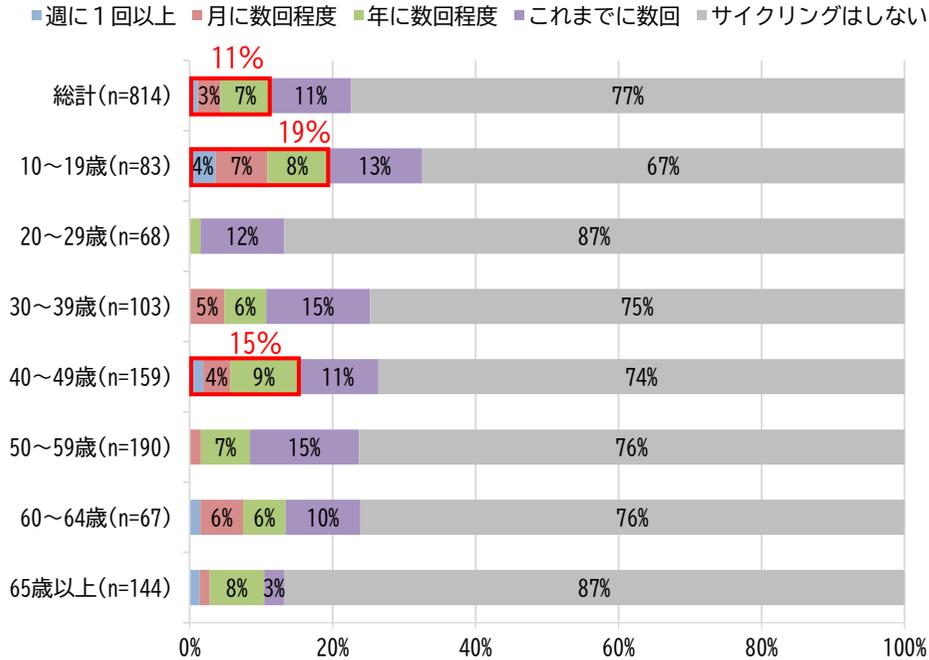


# 7. サイクリング（趣味・レジャー）

## ■サイクリングを楽しむ頻度

○年に数回以上楽しむ方が約1割おり、「10～19歳」「40～49歳」では2割弱である。

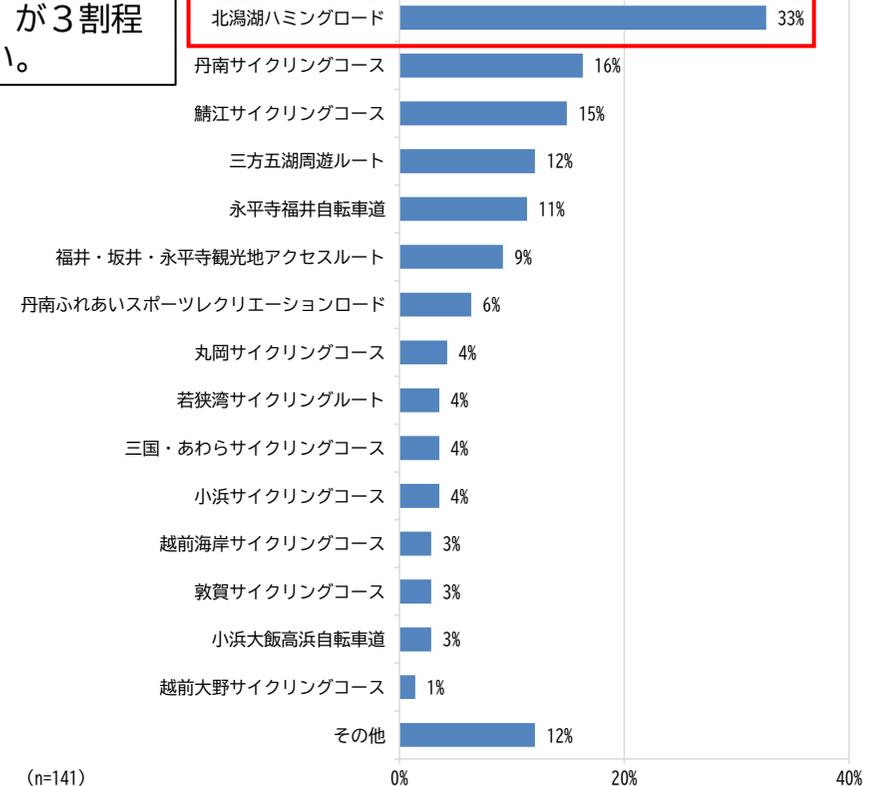
【サイクリングを楽しむ頻度】



## ■走行経験のあるサイクリングコース

○「北潟湖ハミングロード」が3割程度と多い。

【走行したことがあるサイクリングルート】

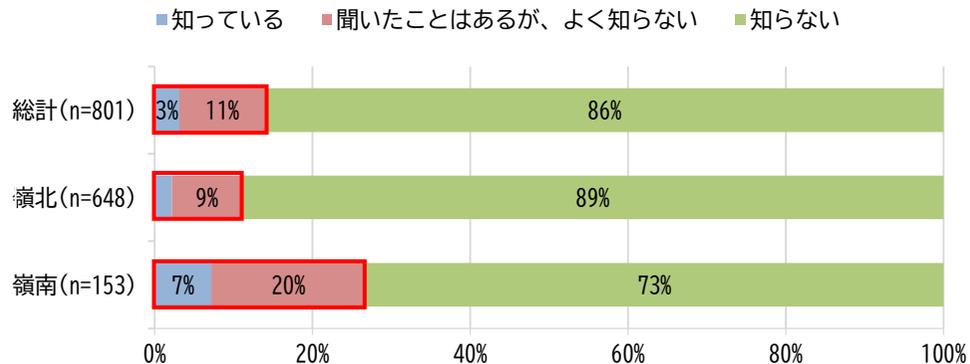


## ■わかさいくるの認知度

○「知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」の合計は1割強で、「嶺南」では3割弱である。

※わかさいくる：若狭湾サイクリングルート of 愛称

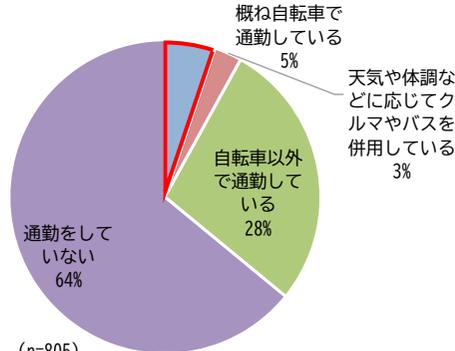
【わかさいくるの取組を知っているか】



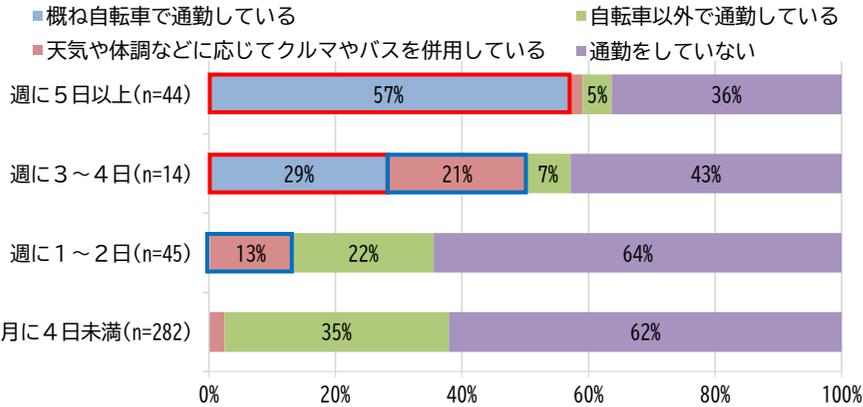
# 8. 自転車通勤や業務での利用

## ■自転車通勤をする割合

○「概ね自転車で通勤している」は5%で、利用頻度が高いほど多い。利用頻度が下がると「天気や体調などに応じて併用」が増える。

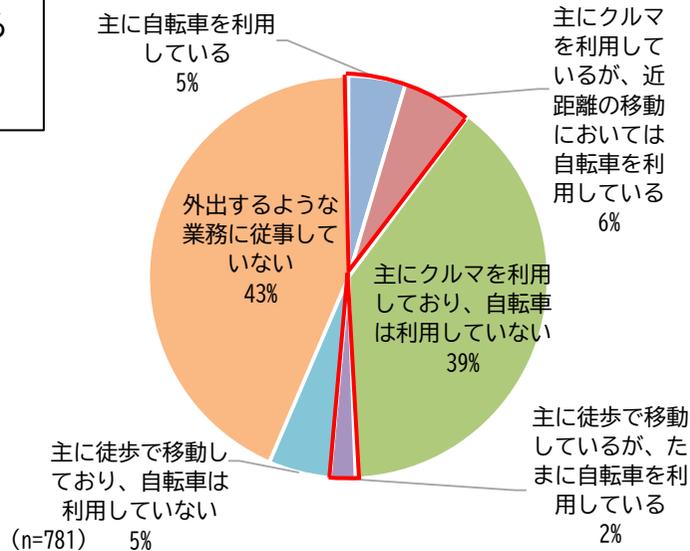


【利用頻度別の自転車通勤状況】 (n=805)



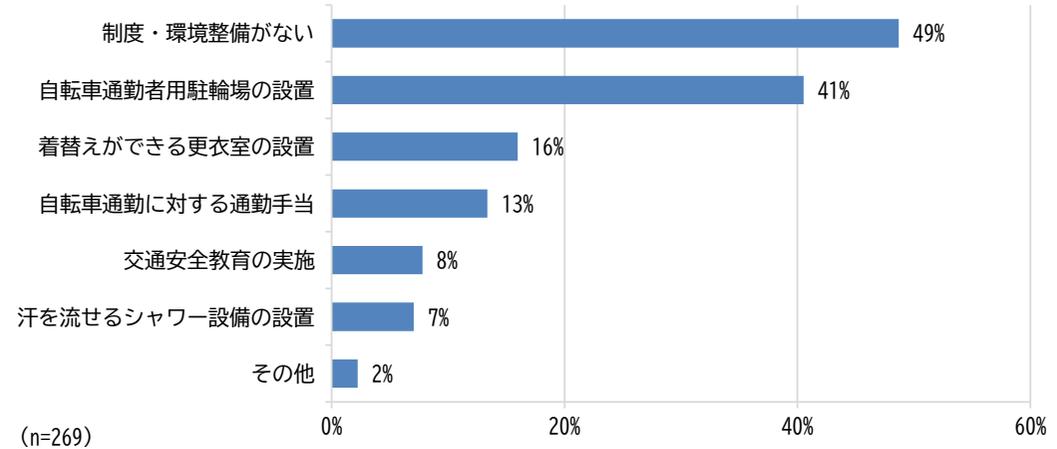
## ■業務における自転車利用の有無

○自転車を利用することがある方は、約1割である。



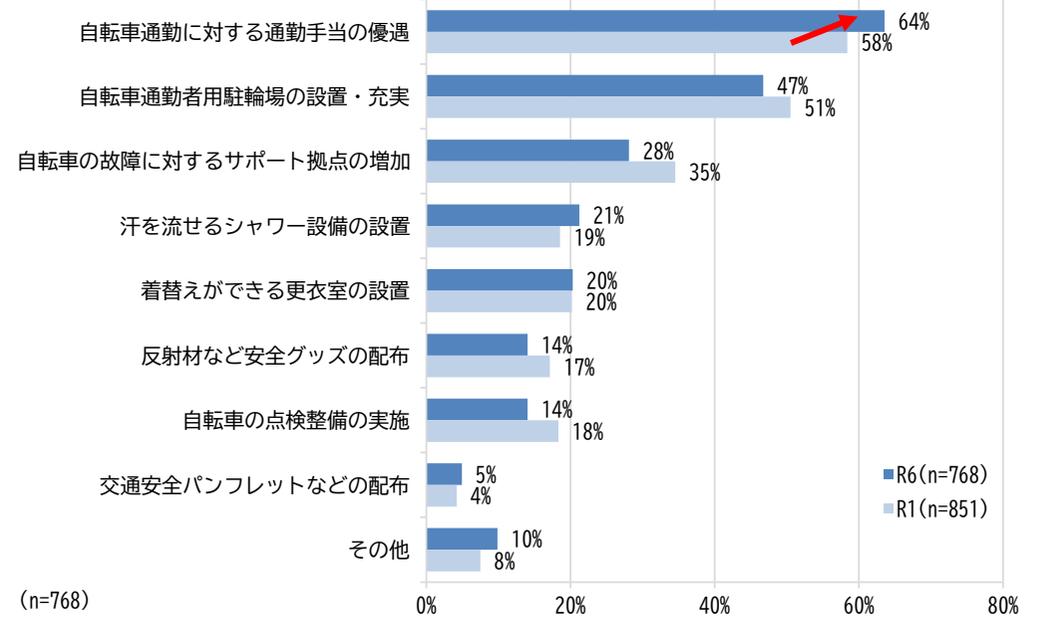
## ■通勤先の自転車通勤の制度・環境

○「制度・環境がない」が約5割で、「自転車通勤者用駐輪場の設置」が約4割である。



## ■自転車通勤者を増やすための取組

○「自転車通勤に対する通勤手当の優遇」が最も多く、前回調査に比べても微増している。



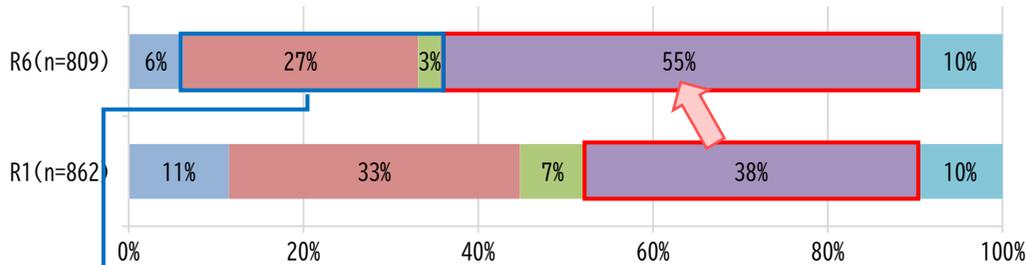
# 9. 今後の自転車施策

## ■今後の自転車利用と必要な施策

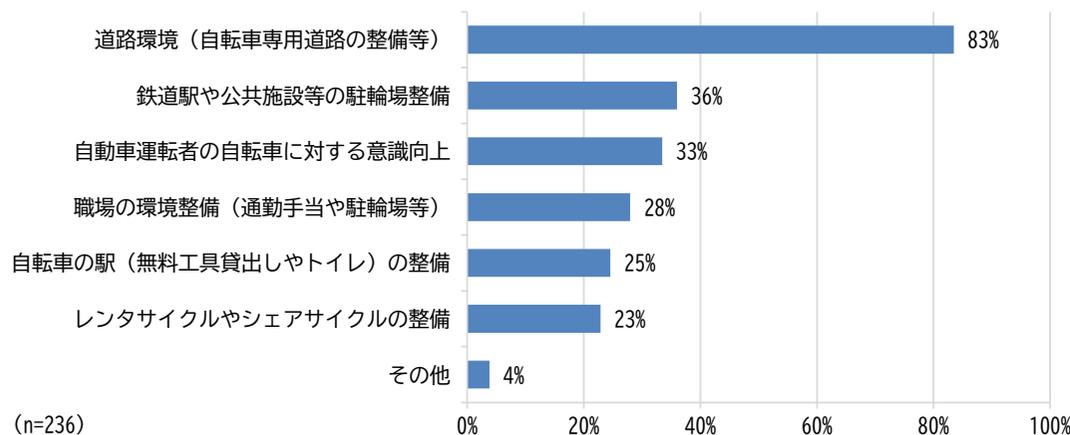
- 「自転車の利用環境が改善されても増やす予定はない」が約2割増加している。
- 利用環境の改善要望は「道路整備」が約8割と特に多い。

【今後、利用機会を増やす予定があるか】

- 増やす予定がある
- 自転車の利用環境が改善されれば増やしたい
- 自転車の利用環境が改善されれば、自動車等の運転免許を返納し、自転車利用を増やしたい
- 自転車の利用環境が改善されても増やす予定はない
- すでに十分自転車を活用している



【どのような利用環境が改善されれば自転車を利用したいか】



## ■自転車活用推進に必要と思われる施策

- 「自転車通行空間の整備」が約7割で特に多く、次いで「駐輪場の整備促進」が約3割、「自転車と他の交通機関との連携強化」が約2割となっている。

